

## 助け合いの印 ヘルプマークにご理解を ～共生社会の実現に向けて～

ヘルプマークとは、外見からは障がいがあることが分からない方(義足・人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など)が、援助や配慮を必要としていることを周囲に知らせるマークです。ACジャパン(公共広告機構)のコマーシャルでも取り上げられてはいますが、未だに認知度は低いのが現状です。

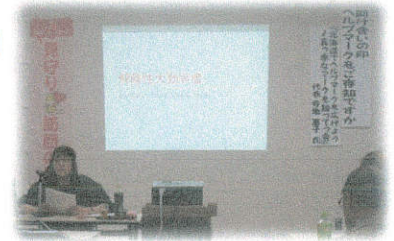
そこで福住地区では、10月25日(木)午後2時より福住地区会館において寺地恵子氏(北海道でヘルプマークを広げよう～真っ赤なマークを知ってっ会代表)の講演会を

行いました。25年前解離性大動脈瘤を発症した寺地氏は、7回に渡る人工血管置換術を受けられ

術後、積極的にヘルプマークを広げる活動を行ってきた方です。当事者ならではの苦勞、日本ハムファイターズの栗山監督との出会いなど1時間ほど体験談を語っていただきました。

このマークを必要とされている方があなたの周りにもいるかもしれません。

ヘルプマークに正しい理解と暖かい配慮をお願い致します。



## わいわい楽しい ミニミニまつり

11月のふくふくキッズは、特別企画手作りミニミニまつりを行いました。

11月19日(月)午前10時から福住地区会館2階集会室は縁日会場に早変わり。

9月に予定されていた豊平区主催「わくわくとよひランド きたえーるでASOBO!」が胆振東部地震の影響で中止になったことを受け、縮小版として企画。

手作りのヨーヨーすくい、的あてゲーム、ワニたたき、ぷかぷか金魚すくい、パッチンカード、お面やさんなど会場狭しと6つのコーナーが並べられました。

当日は肌寒い天候でしたが、24組の親子連れに楽しんでいただきました。



※12月は、クリスマス会を予定しています。お手伝いしていただける方引き続き募集しています。(12月10日(月)9:30集合)

## 施設見学に行ってきました! 「認知症サポーター養成講座応用編」



11月19日実施の認知症サポーター養成講座応用編は、介護の実態を学ぶ施設見学会でした。福住地区内の介護施設3か所を、それぞれグループに分かれ、訪問。利用者とは1時間ほど歓談した後、会館に戻りグループワーク、意見交換しました。受講者、施設側とも好意的な感想が寄せられ、今後の交流に期待できるものとなりました。



## ❀❀ 12月の行事 ❀❀

10日(月) 9:30～ ふくふくキッズ 福住地区会館

14日(金) 10:00～ ふまねつと教室 //

19日(水) 11:00～15:00 ふくふくサロン //

※ 福祉推進員のかたへ

まもりんバッグの引き換えは「ふくふくサロン」開設時間内に

行っております。この時間に都合のつかない方は

瀬戸川(855-5065)まで連絡ください。応相談

## 📖 編集後記 📖

かわら版をようやく発行できたと安堵していたら道新さんより、メイ戸廃刊のお知らせ。これまでの「ふれあい福住」掲載の協力を感謝するとともに、代替手段を考えなければならないことに。元号も変わる新年度からの福まちの広報事業に対して、皆様のご意見をお寄せ下さい。

(編集責任者 瀬戸川 千佳子)